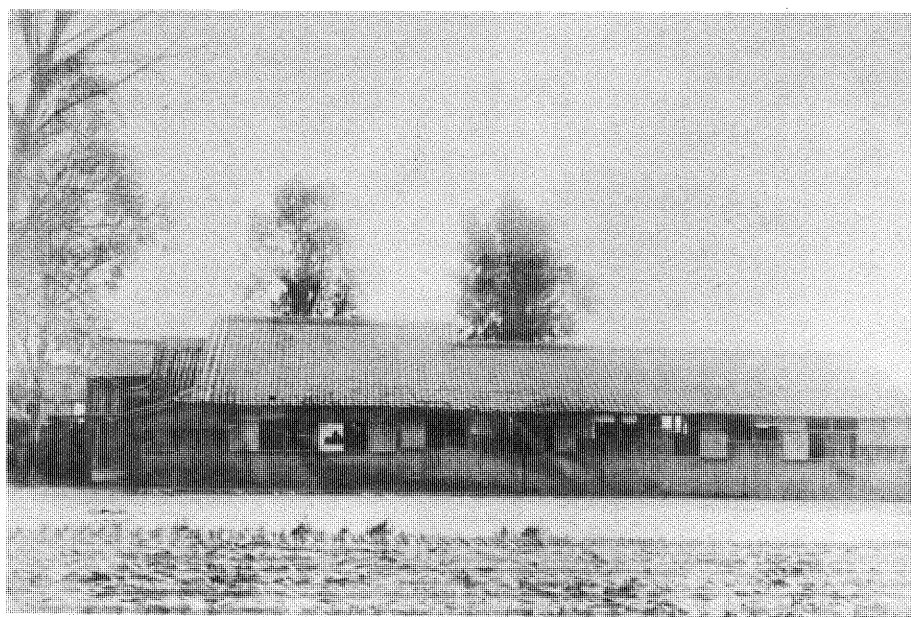
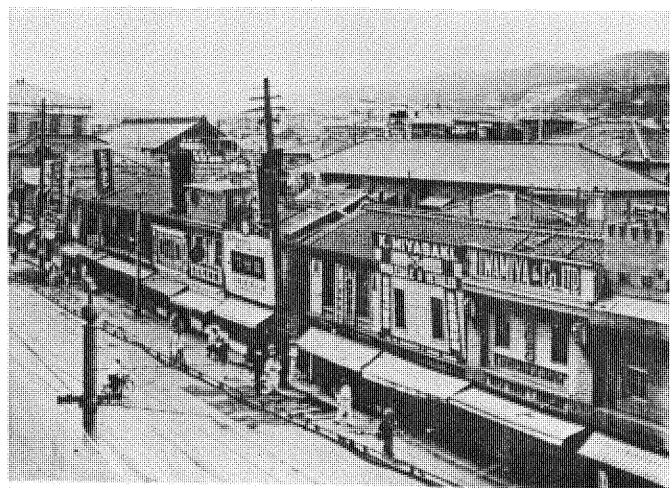


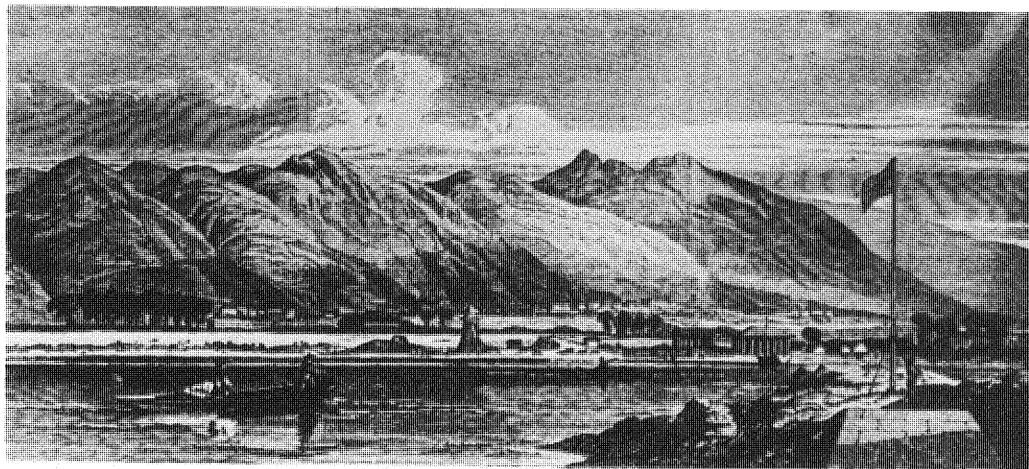
三宮神社の森を東方から見て英人バーナードが描いたもので、左側は出来て間もない居留地の洋館が並び、手前はまだ水田である。一八七八年(明治十一年)の年号とサイン入。



三宮町三丁目大丸前。永田岩見屋など、スベルで書かれた看板が上っている。河原霊社の道しるべが電柱の根元にあった。



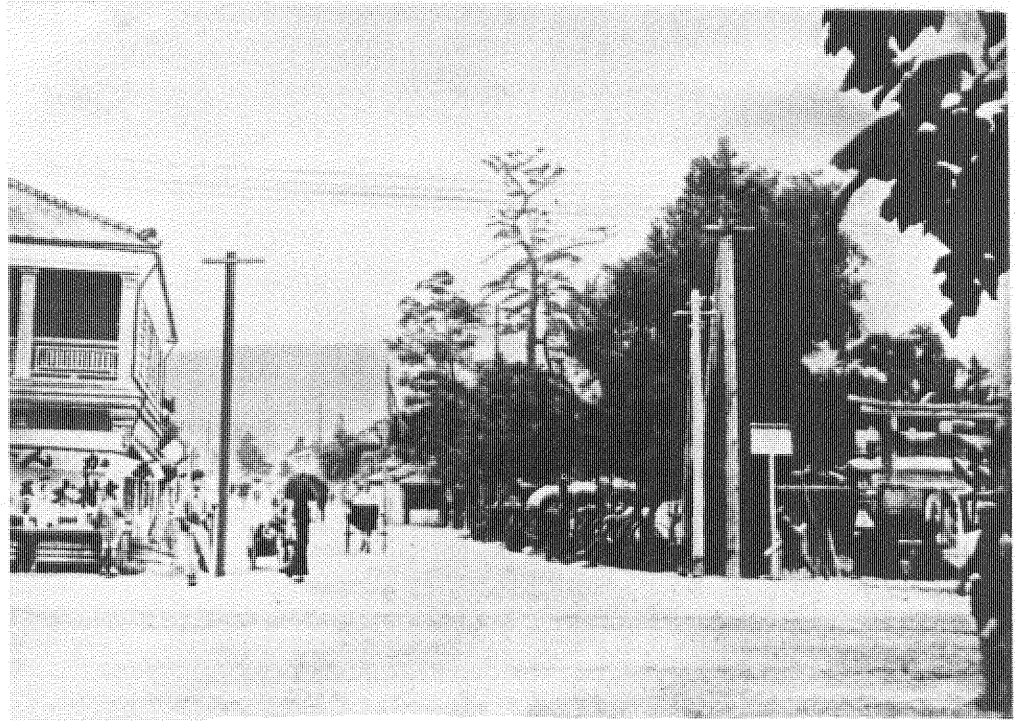
明治初年三宮町一丁目(現在大和証券の所)にあった勝海舟の海軍操練所寮は、後に湊山小学校へ移築して校舎に使われた。



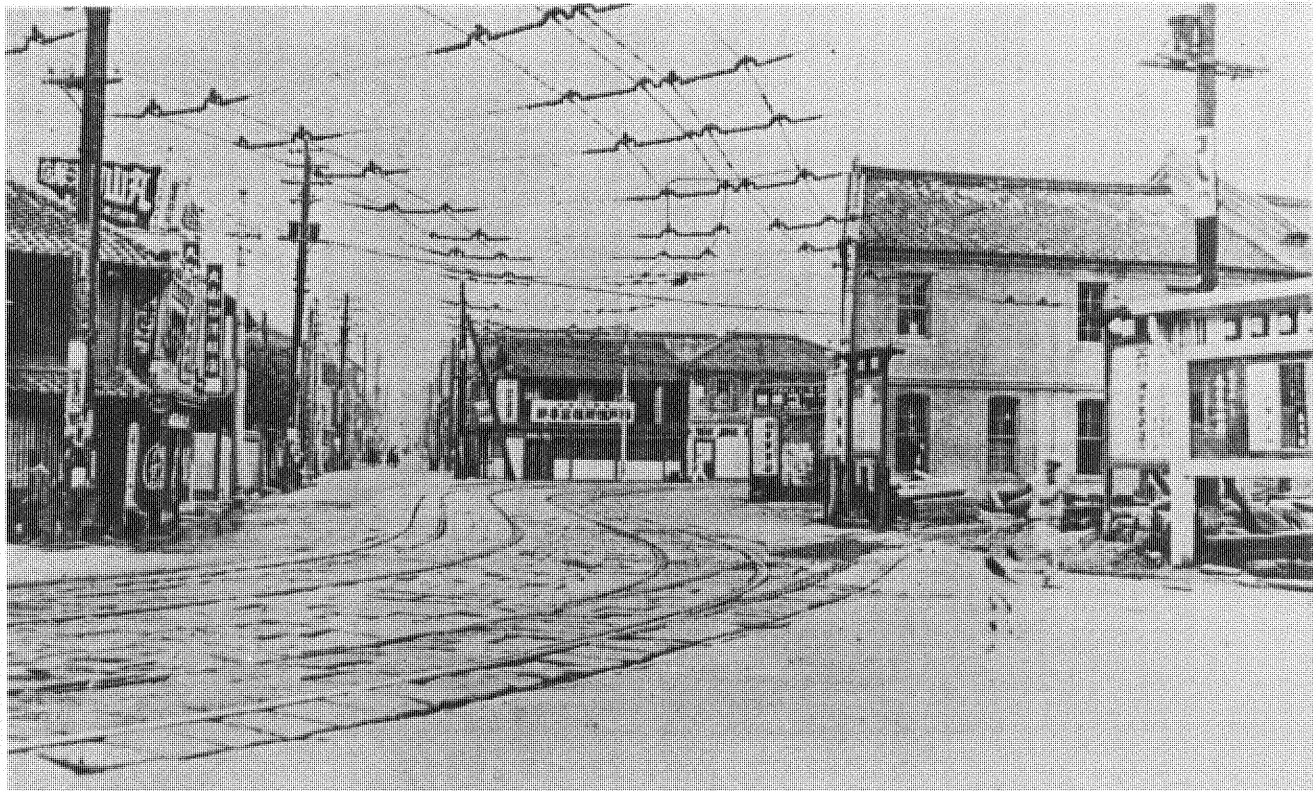
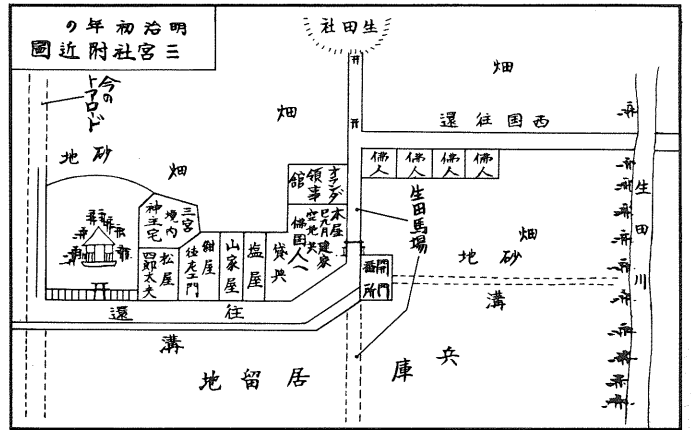
明治初年の神戸港。兵庫居留地の景と書かれている。英国旗の立っている所が当時の英国領事館所在地で、海軍操練所の舟入堀である(京都大学図書館蔵)

昔の三宮神社付近

明治三十年代のトアロード。昔三ノ宮筋と呼ばれたところで、山手に住む異人さんたちの居留地への通勤路として賑わった。  
 右手の森は三宮神社で客待ちの人力車が並んでいる。



三宮神社から東へ望む。鉄柱は市電の架線。  
 右の図は明治初年の住居図で右上に西国往還とある所がセンター街一丁目に当たる。



三宮神社から生田筋へ曲がるところ。  
 右手は電気局、左手に丸山洋服店の看板が見え、上図の生田馬場に当たる。  
 (昭和四年写)